

集団補聴システム比較



使用用途	難聴者補助・老人性難聴補助 (福祉電波使用)	難聴者補助・老人性難聴補助・ (同時通訳)	難聴者補助・老人性難聴補助・ 展示ガイド・同時通訳・その他
使用エリアサイズ	小～大	小～中	小～中
利用方法※1	専用受信機 Tモード付補聴器 (インダクター使用)	専用受信機 Tモード付補聴器	専用受信機 Tモード付補聴器 (インダクター使用)
設置工事※2	FM送信機を1台設置 2台設置で2階席ホールの全席カバー	ループアンテナを床下へ埋設するため 追加 (改修) 工事は困難な場合が多い エリアが広くなるとケーブル敷設が大変	赤外線ラジエータを2台設置 エリアが広くなるにつれて 複数のラジエータが必要
工事費	一般的なワイヤレスアンテナの設置と同じ	ループケーブルの敷設方法及びエリアの 広さにより大きく変わってくる	ラジエータの数量により変化あり
メンテナンス	容易	ループケーブルの入れ替えは困難	ラジエータの設置場所による
周波数	75MHz	-	2.3MHz & 2.8MHz
仮設利用	可	仮設専用有り	可
長所	ホール・スタジアム等の大規模空間に特化 法律で周波数が決められている	Tモード付補聴器の利用者はスイッチを 切り替えるのみで使用可能	音質のクオリティーが高い 隣接した部屋などで利用するのに良い 外部音漏れ・盗聴の心配なし
短所	補聴援助使用に限定されている	デッキプレート床の場合は、出力が低下 隣接エリアに漏洩する 受信機の持ち方によって音質変化 Tモード付補聴器の利用者はごく僅か	人や物が壁になると音声途切れる 他の赤外線システムと干渉する 屋外使用不可
費用※3	中	小～大	小～大

※1 Tモード付補聴器の間こえやすさはどの方式も同じ ※2 10m x 15mのエリアを想定 ※3 試聴エリアが広がると概算費用はFMシステムが一番安い

集団補聴システム比較



Wi-Fiリスニングシステム



Auracast (オーラキャスト)



使用用途	難聴者補助・老人性難聴補助 同時通訳・美術館/博物館等のガイド・健常者利用	難聴者補助・老人性難聴補助・ 同時通訳・サイネージ・ツアーガイド・健常者利用
使用エリアサイズ	小～大	小～大
利用方法※1	スマートフォンと Bluetooth対応イヤホン or Bluetooth対応補聴器 or Tモード付補聴器 or 専用受信機	Auracast対応イヤホン or Auracast対応補聴器 or 専用受信機
設置工事※2	サーバーとアクセスポイント1台を LANケーブルで繋ぐ	1台の送信機に音声を入れるだけ
工事費	一般的なWi-Fiシステムの設置と同じ	工事費が一番安い
メンテナンス	容易	容易
周波数	5GHz	2.4GHz
仮設利用	可	可
長所	専用受信機がなくても自前のスマートフォンと イヤホンがあれば何人でも利用可能 字幕をスマートフォンに表示することが可能 最大10チャンネルの同時送信が可能	専用受信機がなくても Auracast対応イヤホンがあれば何人でも利用可能 設備投資費用が一番安い トランスミッター増設可能 強固なセキュリティー設定可能
短所	スマートフォンアプリの利用が必須	Auracast対応イヤホンがまだ市場に少ない
費用※3	小	最小

※1 Tモード付補聴器の聞こえやすさはどの方式も同じ

※2 10m x 15mのエリアを想定

※3 試験エリアが広くなると概算費用はFMシステムが一番安い